

2026年度(第38回)年次学術講演会 開催案内および講演募集

申込締切	2025年12月 5日(金)
原稿締切	2026年 1月 9日(金)

I 開催案内

1. 開催日： 2026年4月20日(月)~21日(火)
2. 場所： 神戸国際会議場(5階 会議室)
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目9-1
3. 分野： 耐火物に関する全般(下記募集要領参照)
4. 参加費： 会員：5,000円, 非会員：8,000円, 大学・高専等の所属者：無料
5. 講演概要集：耐火物誌3月号をあてる(希望者には3,000円で協会事前購入可)
6. 交流会： 4月20日(月)講演会終了後予定(神戸ポートピアホテル;偕楽1宴会場)

II 講演募集要領

1. 講演内容： 別表 講演発表分類表に基づく, 学術・技術に直接関連するオリジナルなもの。
2. 講演時間： 発表15分, 質疑応答5分(予定)
3. 講演言語： 日本語又は英語。
4. 講演形式： 口述発表(ポスターセッションなし)
プロジェクター限定, (OHP, スライド不可)/PCは各自持参。
5. 講演申込資格：講演者は本会正会員, 学生会員, 賛助会員会社社員及びプログラム委員会が認めた者。
6. 申込方法：申込書をコピー, 記入の上, 郵送, ファクシミリ, E-mailで下記宛送付。
申込後, 事務局より受付番号をお知らせいたします。
 - 1) 申込締切： **2025年12月5日(金) 必着**
 - 2) 申込・問合先：耐火物技術協会 年次講演会事務局 奥橋 照也
〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-13 ニューギンザビル 4F
TEL 03-3572-0705, FAX 03-3572-0175
E-mail okuhashi@tarj.org
7. 申込用紙の記載：
 - 1) 申込み用紙に演題, 発表者(いずれも英文併記で), 講演要旨, 連絡先を明記する。
 - 2) 「発表分類番号」欄には別表「講演発表分類表」から選んだ該当数字を希望順に, 2項目以上記入する。
 - 3) 氏名にはふりがなを, 講演者氏名の前には○印を付す。
8. 講演概要原稿：作成要領に従い耐火物誌及びTAIKABUTSU OVERSEAS用原稿を, メール添付データで年次講演会事務局に提出する。
原稿締切： **2026年1月9日(金) 必着**

第38回 年次学術講演会発表申込書

申込締切：2025年12月5日（金）

送 付 先：耐火物技術協会 年次学術講演会事務局 奥橋 照也
〒104-0061東京都中央区銀座7-3-13ニューギンザビル
E-mail okuhashi@tarj.org / FAX 03-3572-0175

講演題名 和文

英文

発表者氏名・所属 和文 (講演者に○印をつけて下さい)

発表者氏名・所属 英文

講演要旨（200字以内）

耐火物研究助成金対象研究 対象 (年度) / 非対象

*選択して○を付け、必要項目を記入する。

発表分類番号 【 】 使用機器
⇒プロジェクト限定(PCは各自持参)

連絡先：所属

住所

氏名

TEL

FAX

E-mail

耐火物誌用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は和文又は英文。
- 2) 用紙：A4判白紙に上下30mm，左右20mmの余白を設けこの枠内に記し，1ページに収める。
- 3) 体裁：次ページの年次学術講演会概要原稿作成要領に従うこと。特に字体はそれぞれ指定されたものにする。こと。（英数字は半角，カタカナは全角を使用する。）
- 4) 表現：① 原稿は目的，研究手法，成果，結論等が理解しやすい簡潔な表現とすること。題名は具体的かつ内容を的確に表すこと。
② 商品名，一般的でない略号等は原則として用いない。
③ 図表はすべて英文とする。（図表中の説明も英文とする。ただし本文中では図1，表2…と和文表記し，ゴシック太字とする。）
④ SI単位を使用。（例：MPa， $\text{kg}\cdot\text{h}^{-1}$ ， $\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$ ， $\text{g}\cdot\text{cm}^{-3}$ ， $\text{W}\cdot\text{m}^{-1}\cdot\text{K}^{-1}$ ，mass%）
⑤ 顕微鏡写真のスケールは必ず写真内にいれる。（写真は，図として扱う。）
- 5) 提出：作成した原稿は，メール添付データで年次講演会事務局に提出する。
- 6) 査読：応募原稿はプログラム委員会において，題目・形式・印刷効果等を中心とした査読を行い修正を依頼することがある。
- 7) 発表講演は，後日耐火物誌への論文又は技術報告としての投稿を依頼する。
- 8) 著作権：耐火物技術協会に属する。

TAIKABUTSU OVERSEAS 用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は英文。（協会での翻訳希望者は耐火物誌用原稿のコピー左肩に翻訳依頼と朱書し，余白に特殊用語のみ英語を朱書して提出する。）
- 2) 用紙・体裁：講演題目，著者及び本文は A4判用紙に大きめの活字でベタ打ち，図表は耐火物誌用と同じものを別紙にて，電子データ（メール添付）で提出する。（レイアウトは協会で行う。）
- 3) 校正：内容については触れないが，英文としての校正をすることがある。
- 4) 掲載辞退：都合により掲載を辞退するときは，耐火物誌用原稿のコピー右肩に掲載辞退と朱書して提出する。（辞退しても発表記録として題目と発表者名は掲載される。）

別表：講演発表分類表（2項目以上選択のこと）

分類	分野・内容	分類	分野・内容
1	基礎・評価・分析技術	7	鑄造(非鉄含む)
2	原料	8	ガラス・セメントその他工業炉
3	耐火物製造技術	9	焼却炉・廃棄物熔融炉
4	設計・施工・補修及び機器	10	定形耐火物
5	製銑	11	不定形耐火物
6	精錬(非鉄含む)	12	その他

≪年次学術講演会概要原稿作成要領≫

耐火物研究助成金対象研究 (⇒ 耐火物研究助成金対象研究には、左側最上段に必ず記載する)

タイトル (ゴシック太字 14 ポイント)

〇〇耐火 (株) 春野太郎, 夏山花子, 冬木 岳 (明朝 11 ポイント)

◎◎大学 秋川一郎

Application of Castable for Ladle (Times New roman 11 points)

Taro HARUNO, Hanako NATSUYAMA, Takasi FUYUKI and Ichiro AKIKAWA (苗字は大文字)

1 緒言 (ゴ太 11 ポイント)

(明朝 11 ポイント) 題名は、重要キーワードを用いて内容を的確に示し、英文は極力日本語に対応させる。報告書の作成者を第一著者とする。常用されていない略号は使用しない。項目番号のあとには、ピリオドは不要。和文の () は全角。

2 実験方法 (試験方法など)

試験方法と結果、結果と考察はまとめてもよい。本文中の 図 1, 表 1 などはゴシック太字に。図表のキャプションは、Arial 太字、表内文字は Arial (8-10point) にする。最初の単語のみ大文字にする。単位は / で表し、SI 単位に従う。本文及び図表の単語、数値、/, 単位間は、それぞれ半角スペースを入れる。英文の () は半角。

3 結果

書式は、A4 縦向き、余白は上下 30 mm 左右 20 mm, 42 字×44 行。本文、見出しは 11 ポイント。本文は明朝、見出しは、ゴシック太字に。本文中の英数字は半角、カタカナは全角とする。句点は「。」, 読点は「,」 (全角) とする。

Table 1 Chemical compositions of samples

Chemical Composition / mass%	A	B	C
SiO ₂			
Al ₂ O ₃			
MgO			

Table 2 Properties of samples

Physical properties	A	B	C
Bulk density / g・cm ⁻³			
Apparent porosity / %			
MOR* / MPa			

* : Modulus of rupture

3-1 特性値

3-2 〇〇試験

4 考察

結果と考察にまとめてもよい。

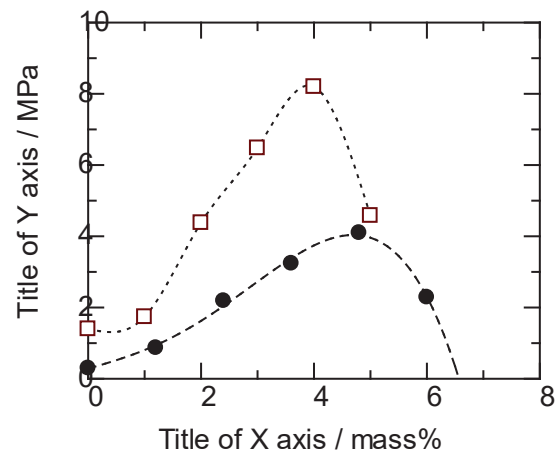


Fig. 1 Properties of samples.

5 まとめ (結論, 結言など)

文献

- 1) 春野太郎, 夏山花子: 耐火物, **49** [11] 586-589 (1997).
- 2) 秋川太郎: 第 55 回原料専門委員会報告集, 耐火物技術協会 (1997) pp. 23-29.
- 3) D. D. Button and W. G. J. Lawrence: J. Am. Ceram. Soc., **47** [10] 503-504 (1964).